



川東小だより

第11号

平成31年3月15日

新発田市立

川東小学校

☆☆合い言葉は、「夢や目標」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ です。☆☆

「夢や目標」、「進学や進級」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ ー「ほめ言葉」は「自信」という未来への架け橋をつくる魔法の言葉ですー

校長 田中 範克

いよいよ、3月で平成最後の30年度が終わります。振り返れば、酷暑や様々な全国的な自然災害などがあり、新しい時代が幕を開ける前の激動の1年となりました。

川東小学校の30年度を振り返れば、創立5周年という節目として、子どもたちのよりよい成長が見られた1年でした。特に、文化祭での創立5周年記念の「ワークわくジョブチャレンジ」。ふるさとを愛する心、夢や未来を意識する気持ちが高まる、楽しくてわくわくする盛大な記念イベントとなりました。「チーム川東小」として学校・保護者・地域が一体となり、子どもたちの「今と未来のための力」を伸ばすことができたのではないかと思います。

このように、様々な教育活動を通して成長してきた子どもたち。保護者の皆様や地域の皆様が、いつも子どもたちの成長を支え、温かく見守ってくださったおかげです。心より「感謝」の気持ちを表したいと思います。今年度のご理解とご協力、本当にありがとうございました。

いよいよ、6年生は卒業を迎え、1年生から5年生は進級します。「夢や目標」をしっかりと持ち、「感謝」の心を胸に特に「自信」をもって、4月の進学や進級という新たな世界へ羽ばたく準備をしっかりとしてほしいと願っています。

「自信」とは、「自分の能力や才能・価値などを信じること」です。「夢や目標」の実現に向けて、「自信」を持つことは絶対に必要であり、基盤となります。「自信」は、自分自身による努力や練習でも身に付きますが、特に子ども時代は、他者から認められたり、ほめられたりする体験や経験が重要であることは言うまでもありません。

人間は、ほめられるとお金などの報酬をもらった時と同じ脳の部分が反応するという研究結果があるそうです。つまり、ほめ言葉は脳の中で「報酬」ととらえられ、喜びを感じます。さらに、ほめられると脳内のセロトニンやドーパミンの分泌が増え、不安な気持ちが改善し、心が穏やかになり、自律神経のバランスが整います。そして、免疫力も高まり、心身ともに良い方向へ変わっていくそうです。ほめ言葉は、「自信」をもたせるだけでなく心と体に良い、すばらしい魔法の言葉でもあるといえます。

どの子どもたちも、この1年で大きく成長をしています。進学・進級に向けて、どんなささいなことでもよいので、毎日ではなくても何かのチャンスを通してお子さんをほめてあげると、より良いチェンジにつながると思います。

3月は、「夢や目標」、特に「進学や進級」に向かってチャンス・チャレンジ・チェンジ！「夢や目標」に向けて、「自信」という未来への架け橋をつくる素敵な「魔法の言葉」の「ほめ言葉」を子どもたちにかけることに、ぜひみんなでチャレンジしてみませんか。